

## 精神障がい者の福祉施策充実について（回答）

■ 提出者：倉吉市精神障がい者家族会、中部精神障がい者家族会

■ 受付日：令和4年1月20日

■ 回答日：令和4年1月31日

### 1. 精神障がい者への特別医療助成について

- 精神障がい者への助成対象者は、精神障害保健福祉手帳2級保持者で住民税非課税世帯の人となっていますが、3級の人も働いている人は少なく、3級までの助成をお願いいたします。なお、住民税非課税世帯ではなく、本人所得が市民税非課税者として取り扱いいただけるようお願いいたします。

【回答：保険年金課 Tel 22-8151】

予算や条例に関わる内容でもあり、他団体の取組みや市の財政状況などを踏まえて、検討させていただきたいと考えています。

### 2. 精神障がい者の雇用及び定着支援促進について

- 平成30年4月1日より「障害者雇用促進法」において精神障がい者の雇用が義務化されました。障害者の実雇用率では、行政は40人以上で1人雇用する義務となっておりますが、現状をお聞かせください。

障がい特性に応じた雇用、就労ときめ細かい定着支援への対策をお願いいたします。

【回答：職員課 Tel 22-8164】

今年度、倉吉市役所では身体障がい者12人、精神障がい者4人の計16人を雇用しています。全職員数に対する障がい者の割合は、2.57%（法定雇用率は2.6%）となっています。

ハローワーク倉吉が開催する「障がい者就職面接会」に毎年参加し、市役所での就労を希望する障がい者の方を採用しており、今後も継続していく考えです。

定着支援として、面談やアンケートなどを通じて本人とのコミュニケーションを図り、業務内容や職場環境への配慮を行ってまいります。また、障がいに対する正しい認識に基づいた配慮や対応が行えるよう、職場内研修を実施していきます。

### 3. 精神保健教育の小・中学校への本格導入について

- 令和4年度から高等学校の保健体育の授業で「精神疾患の予防と回復」が本格実施となります。さらに、思春期世代へのメンタルヘルスリテラシー（精神保健教育）の必要性が高まってきております。精神疾患について精神保健の正しい教育を早期発見、早期支援、また偏見解消のための小・中学校教育に取り入れる方針を示してください。

【回答：教育総務課 Tel 22-8166】

児童青年期における抑うつなどの精神的不調の問題は、学業の不振や、長期欠席などの学校適応上の問題につながるとされている。そのため、学校現場においては、生徒の抑うつなどのこころの不調の有無を見極め、精神疾患についての偏見を取り除き、早期に治療に臨めるようにしていくことが必要であり、中学校の教職員研修では、専門的な知識を持つスクールカウンセラー（臨床心理士）が講演を行い、ストレスについての全般的な知識、思春期にあらわれやすい心身や行動面の症状などについて述べ、精神的不調に対しての差別や偏見をなくし、精神的不調に早期に気づき対応することの必要性についても述べている。

なお、学校では発達段階を踏まえて児童生徒の指導を行っているが、中学校での健康教育に関連する内容としては、

- ① ストレスとは何か
- ② ストレスの原因となる刺激によって生じる心身の反応について

③ ストレス反応への対処方法について

- ・つらくなったときは、我慢しなくてよいことや誰かに相談することが大切であること
- ・趣味を持ったり、質のよい遊びをしたりなどリラックスすること、自己効力感や自己肯定感を保持してほしいことなど

④ 思春期特有のこころの動き

- ・もやもや、いらいら、などをはじめとした思春期におこりやすい気分やからだの不安定さについて

⑤ 精神疾患に関する知識について

- ・こころの不調は誰にでも起きるものである、からだの不調と同様に、早期発見し、必要であれば医療機関に受診したりすることが大事
- ・悩み事を抱えたときは、ひとりで抱え込まず、誰かにしゃべることが大事等、上記の内容を中心に学習を行っている。

小学生よりも中学生になると不安症状や抑うつ症状がより顕著に現れてくるとされ、現状では不安や抑うつを持つ生徒が見過ごされてしまい適切な支援を受けていないケースも多いとされている。そのため、教員、保護者、生徒が抑うつについての理解を深め、適切な対応ができるような配慮が必要であることから、引き続き、スクールカウンセラーを中心とした教職員研修、児童・生徒への健康教育の指導、保護者啓発を行っていきたい。

なお、教育委員会として現段階では、健康教育について

(教員対象)

- ・医師やスクールカウンセラー（臨床心理士）等の専門家による、精神疾患についての講演会

(中学校生徒)

・学習①：ストレスと心の病気      学習②：心の相談機関の説明・紹介

学習③：当事者との交流      学習④：交流をした生徒による発表

(保護者)

- ・講演会「思春期のメンタルヘルス～子どもの心を知るために～」を行うように計画を行っている。

~~4. 県立厚生病院の精神科外来の開始と入院受け入れ等の充実について~~

~~中部地域の基幹病院である厚生病院に精神科外来の開設と常勤医師の配置及び精神科で入院できる体制整備への働きかけをお願いします。 (回答なし)~~